



社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

「福祉だより信州」は共同募金の
配分金で発行されています。

昭和27年1月11日
第三種郵便物認可第765号
令和元年5月25日発行
(毎月25日発行)

福祉だより 信州

No.
765
2019 5・6月号

よっ!
新風人



CONTENTS

みんなで取り組む地域共生・信州	2
県社協紹介	4
福祉保険サービス広告	5
県社協情報局	6
おらほの縁パワー活動!・おらほの資金確保術!	7
よっ!新風人・ざわめくアート	8

ふっころ
長野県社会福祉協議会
公益キャラクター

・信州

人や組織の協力により、
実現を目指します。



包括的な相談支援体制づくり

～地域を基盤とする総合相談・生活支援の推進～

自立相談支援事業、生活福祉資金貸付事業及び
日常生活自立支援事業の充実と

地域を基盤とした包括的な相談支援体制づくりを推進します。

あんしん未来創造プロジェクトの推進

新たに「長野県あんしん未来創造プロジェクト事業」を実施し、「長野県あんしん創造ねっと(県内社協公益事業)」及び「信州あんしんセーフティネット(社会福祉法人経営者協議会)」事業等を運動させながら、あんしん未来に向けた事業の拡大及び新たな事業の創出に積極的に取り組みます。

まいさぼを核とする生活困窮者支援の充実

法制度改正を踏まえ、**自立相談支援事業及び家計改善支援事業の連携強化、研修の充実による人材等の育成**に更に努めるとともに、関係機関・団体との具体的な事業連携を進め、地域に就労や社会参加の場を求めて自立支援を進める取り組みを支援します。

総合的な権利擁護の推進

日常生活自立支援事業の基盤強化を図り、町村社協の総合相談体制づくりを支援するとともに、生活支援や権利擁護の担い手となる人材養成を一体的に進め、市町村社協独自の生活支援サービスや社会福祉施設・団体が進める権利擁護事業を含めた**総合的な権利擁護体制づくり**を進めます。

組織改正

相談
事業部
あんしん創造
グループ



公益事業の推進

長野県社会福祉法人経営者協議会等との連携を深め、**公益事業の推進**や**市町村社会福祉法人連絡会**の立上げを支援します。

令和元年度 長野県社会福祉協議会 事業計画

新しい時代の地域福祉を
みんなで創っていきましょう！

長野県は「ともに生きる ともに創る 地域共生・信州」をテーマとした長野県地域福祉支援計画を、今年度からスタートさせました。

長野県社会福祉協議会では、これまで以上に多様な関係者と連携を深めながら、「地域共生・信州」の実現に向けた機運づくり、仕組みづくりに取り組み、地域福祉の基盤強化を図ってまいります。

まちづくりボランティアセンターで

は、福祉教育やコーディネーター養成などを通して、多様な分野と連携した福祉のまちづくりを推進します。

また、相談事業部においては、県民の多様な福祉・生活課題をしっかりと受け止めソーシャルワーク機能を発揮していくため、あんしん創造グループへの組織改編を行いました。

これらの取り組みの基盤となる福祉人材確保のため、シニア等新たな層の人材養成に取り組むほか、社会福祉法人の公益事業や関係団体との協働事業の推進に努めます。

みんなで取り組む 地域共生

様々な個性、多様性を持つ人々が地域のなかで「ごちゃまぜ」で暮らし、多くのライフステージを通じてその人らしい居場所と出番がある地域共生社会の



住民主体の地域福祉 ～新しいお互いさまの地域づくり～

まちづくりボランティアセンターを中心に、福祉を起点として教育、産業、環境など幅広い分野との学びと一層の協働に取り組み、各市町村の地域福祉の基盤強化を支援します。

地域連携を進める人づくり

社会教育や公民館活動との連携による学びの場や連携モデルづくりに取り組むとともに、多様な財源で配置されている地域福祉コーディネーターの総合研修を実施して、コーディネートを担う人材の養成やネットワークづくりに取り組みます。

地域共生の仕組みづくり

まちづくりボランティアセンターの機能を高め、住民の支え合い活動やボランティア活動をより一層支援し、多様な活動主体の連携による地域共生の仕組みづくりに取り組みます。

災害ボランティア活動の推進

被災地でのボランティア活動を円滑に進めるために、災害ボランティアセンター運営支援者の資質を高める研修を行うとともに、災害時における地域、企業、NPO 等による連携を促進するネットワークづくりを進めます。



災害福祉支援事業

長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会（災福ネット）を母体として長野県ふくしチームの養成や福祉・介護事業所のBCP作成の支援に取り組みます。



「ごちゃまぜ」社会に向けた 学びの推進

様々な個性を包み込み、誰もが地域の宝として輝ける「ごちゃまぜ」社会の実現を目指して、福祉教育や多様な学びを推進します。

福祉計画づくりの促進

長野県との協力により、市町村地域福祉計画や地域福祉活動計画の策定・改定支援を通して、新しいお互いさまの地域づくりと包括的な相談支援体制づくりを支援します。

共生みらいプロジェクトの推進

地域共生と福祉の未来の視点から、住民参加で学び・体験できる福祉教育や福祉の仕事PR推奨プログラムを募集し、県内各地の様々な学びの場での活用を促進します。

「住民支え合い
行動宣言」

福祉の仕事体験
「ふくしニア」

多様性を学ぶ
「ヒューマン
ライブラリー」

福祉人材の確保、養成

福祉・介護人材確保ネットワーク会議を中核に、人材の確保・定着・育成支援に多面的に取り組めます。

新たな層の参入促進

シニア等、福祉人材確保の視野を広げるため、新たに介護入門者の就労支援事業に取り組むとともに、子どもや若者、他分野からの参入促進を目指した啓発事業を推進します。

福祉研修事業の充実

キャリアパス制度運営研修や相談援助スキルアップ研修など独自の研修事業を拡充するなど、福祉・介護職員のキャリア形成を支援します。

公益事業、協働事業の推進

県的福祉団体のネットワーク強化を図り、生活困窮者支援や防災福祉など幅広い分野で公益事業、協働事業を推進します。

住民支え合いマップ

災害時住民支え合いマップの取り組みを促進するとともに、要配慮者情報を統合する「ABCアセスメント表」の普及を図ります。



福祉の心
ふっころ
長野県社会福祉協議会
公式キャラクター

お気軽に県社協へ ご連絡ください!

令和元年度 県社協相談窓口

■ 地域福祉、ボランティア等について



まちづくりボランティアセンター

TEL. 026-226-1882 [民児連]026-225-1613

■ 県社協一丸となって地域共生社会の実現に取り組みます。



事務局長
原 佳正

会長
藤原 忠彦

常務理事
青柳 郁生

■ 暮らしに関わる総合相談について



相談事業部

TEL. 026-226-2035・2036 [総合相談] 026-226-0110

■ 社会福祉法人の運営や公益事業について



総務企画部

TEL. 026-228-4244 [共済事業] 026-226-4126

■ 生活や就労などでお困りの方



生活就労支援センター (まいさぼ)

佐久、諏訪、上伊那、下伊那、木曾、東筑、大町、飯山、信州長野

[本部] TEL. 026-226-2035

■ 福祉のお仕事や研修について



福祉人材部

[人材] 026-226-7330 [公表] 026-217-2648
[保育士人材バンク] 026-217-7787
[研修] 026-227-5208 [ケアマネ試験] 026-226-2000

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
賠償責任 の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料 (1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ(*) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行幸用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJNK18-13568 2019.1.16作成)

平成31年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 **施設業務の補償** (賠償責任保険、動産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度 死亡時100万円 入院時15~7万円 通院時1~3.5万円

◆クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4) **改定**

保険期間1年

▶年額保険料(掛金)		基本補償(A型)
定員		
補基本 償本 (A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞 費用 (B型)	基本補償(A型) 保険料	[見舞費用加算] 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円

プラン2 **施設利用者の補償**

プラン3 **施設職員の補償** **改定**

プラン4 **社会福祉法人役員等の補償**



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。 ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(SJNK18-12811 2018.12.28作成)



一人ひとりが地域に関心をもち、支え合いの文化を創る 地域福祉コーディネーター

地域福祉コーディネーター総合研修

○長野県初の地域福祉支援計画が策定

今年度より長野県地域福祉支援計画（以下、「計画」）が「ともに生きる ともに創る 地域共生・信州」をテーマに掲げスタートします。人口減少社会と人生100年時代の到来、地域のつながりの希薄化や社会的な孤立の問題の顕在化など、地域社会を取りまく状況が変化していることを踏まえ、地域に暮らす誰にも居場所と出番があり、ともに暮らしを支え合う地域共生社会の実現を目指すため、地域福祉の基本的な方向性が示されました。



研修の様子
(H30年度地域福祉コーディネーター養成研修)

○計画を推進する上で重要な「地域福祉コーディネーター」の養成

長野県の地域福祉の推進を目指す計画の実現に向けて、一人ひとりの住民が、身近な地域ですぐに相談ができ、必要な支援を日常生活圏域の中で受けられ、その課題が地域全体の課題と捉えることができるような社会を目指し、住民と専門職・関係機関がお互いの役割と強みを活かすことができる活動や仕組みづくりを進める地域福祉コーディネーターの存在が重要です。社会福祉協議会をはじめとする多様な機関や事業所で相談支援・まちづくりをおこなう人材がこのような役割を理解し、お互いさまの社会づくりを進めるコーディネーターに必要な知識やスキル、視点などを学ぶ研修を今年度もバージョンアップして実施します。

○職種に応じた選択型のプログラムをご用意しています。

実際の地域では、地域福祉コーディネーターとして活動していない様々な職種の方々もいらっしゃいます。行政職員をはじめ、福祉施設の職員、また公民館主事や地域おこし協力隊など、住民の皆さんと協働する機会を持つ方々が「地域福祉のコーディネーター」という視点から、実践につながる講座など全22講座をご用意しました。特に現在、地域福祉の現場で活躍されている生活支援コーディネーターの方を対象とした講座も用意しており、どんなスキル・知識を得たいかを考えながら講座を選択できます。

●地域福祉コーディネーター総合研修

6月17日(月)松本市勤労者福祉センターからスタート

“総論（共通）”

- 地域福祉の方向性と地域福祉コーディネーターの役割

【職種別選択】※新設

- 生活支援コーディネーターのための地域福祉コーディネーター
- 福祉・介護事業所のための地域福祉コーディネーター
- コミュニティにおけるソーシャルワークの強化

【テーマ別選択】

- ボランティアの基礎的理解とボランティアコーディネーション
- コミュニティソーシャルワークの実践Ⅰ・Ⅱ
- まちあるきワークショップ
- 住民参加とコーディネーション
- 住民参加を促すボランティアコーディネーションとケース検討
- 共生型サービスの目指す地域づくり
- 改めて問う「協働」とは
- 持続可能な地域を目指す小規模多機能自治
- ファシリテーショングラフィックの習得
- 会議の場に活かされるコーディネーション力
- 多職種による事例検討から個で地域を支える支援
- 活動プログラムづくり

“総論（共通）”

- 地域福祉推進における住民参加と地域福祉（活動）計画
- 地域福祉の実践に向けた目標設定

地域福祉コーディネーター総合 研修の受講ご案内

今年度の講座は6月17日(月)から
スタート！ 絶賛申込受付中です。

<http://www.nsyakyo.or.jp/news/2019/05/post-66.php>



○地域福祉コーディネーターが小地域を起点として活動を展開した分析集

山間集落や団地など小地域の生活課題の把握から様々な住民活動や支え合いの仕組みづくりに展開した3地域の取り組みをまとめた分析集を作成しました。取り組みのプロセスと併せて、地域福祉コーディネーターが大切にしたい視点、役割や課題などをまとめました。ホームページからダウンロードできます。→ <http://www.nsyakyo.or.jp/news/2019/04/post-62.php>



冊子をご希望の方はまちづくりボランティアセンターまでご連絡ください。

お問合せ先

長野県社会福祉協議会まちづくりボランティアセンター

TEL:026-226-1882 / FAX:026-228-0130 / E-mail:vccenter@nsyakyo.or.jp



木祖村からお届けする 地域活動の拠点 おやすみ処 ときわの会

木曽川の最も上流に位置し、「源流の里」として知られる木祖村。人口約3,000人の自然豊かな木祖村に一際にごわう場所があります。

ここは「おやすみ処 ときわの会」。平成22年4月にスタートし今年で10年目、会員数42名、毎週水曜日に活動をしています。今日は10時から始まる料理教室と総会にお邪魔しました。

30分前には、男性はお茶を飲みながら畑や地域のイベントの話などで盛り上がり、女性は料理教室の下準備を始めていました。取材で初めて訪れた私にも「ここ座ってお茶飲みなよ」とフレンドリーに迎えていただきました。10時になると会員の一人が先生となり、料理教室が始まりました。その間に会長の古畑節行さんにお話を伺いました。

—「おやすみ処 ときわの会」を始めたきっかけは何ですか。

村のアンケートで、村にトイレや休憩所がない、高齢化で活気がないという意見があり、それを聞いて『自分たちの村だから自分たちで盛り上げるんだ』と思い、地元自治会長や有志13人で会を立ち上げました。

—活動が続く秘訣は何ですか。

最初からうまくいっていたわけではなく、みんなと話し、アイデアを出し合ううちに盛り上がってきました。今では、男性が多いのが珍しいようで、他の市町村からも視察に来てくれます。

—確かに男性の方が多いですね。

包丁研ぎ等男性も参加したくなることをやるのが大事ですね。一品作ったら、それを肴に一杯とかね(笑)

会員の中には他の地域団体に所属する人もおり、イベントや活動があればときわの会の仲間も呼び込んで協力しているそうです。つながりがつながりを呼び、さらにつながりが広がるとときわの会。なんと小学生の授業での学びを発表する場にもなっているとのこと。

人口減少や超高齢者社会等、地域に元気がないと言われている昨今で、「自分たちの地域は自分たちで盛り上げる」をモットーに活動するときわの会から目が離せません。



ネットでアピールし寄付を集める クラウドファンディングって?—

長野市ビッグハットで毎年2000人を集める福祉イベント「ハピスポひろば」を開くNPO法人Happy Spot Club(代表理事・高山さや佳さん)は、過去に4回クラウドファンディングで資金調達に成功。初めて挑戦した2013年には60万円、昨年は170万円以上を集めました。

クラウドファンディングは群衆(crowd)と資金調達(funding)を合わせた造語で、インターネットを通して企画への思いを発信することで、共感した人から資金を得るしくみです。個人で即座にカード決済ができます。寄付型、商品購入型、投資型があり、Readyfor、GoodMorning、FAAVOなどの寄付型のサービスがまちづくりや福祉など市民団体の活動によく利用されています。長野県信用組が企業と進めるShowBoatでも、食育、若者の居場所などの寄付型の企画もあります。

利点として圧倒的な発信力で認知度が高まること。「活動を多くの人に知ってもらい、発信力をつけるきっかけには有効」と高山さんは言います。趣旨や進行状況など小まめな発信が必要なため「支援者と共にみんなでイベントをつくる臨場感が高まる」とも。並行して企業や知人への営業活動も必須でした。カード決済を好まない支援者もあり、現金や振込での寄付も集まりました。



「ハピスポひろば2018」の資金調達に利用したクラウドファンディングの画面

こうした資金調達の経験を活かして高山さんたちは、今年はホームページで独自に情報発信をし、振込用紙を利用した寄付集めに踏み切っています。

文中のクラウドファンディングサイトは下記のQRコードからアクセスできます。



よっ! 新風人

毎号福祉の現場に新しい風を吹き込むスタッフをご紹介します。

社会福祉法人 塩尻市社会福祉協議会
地域福祉推進センター
ボランティアコーディネーター
沓掛未奈さん



webでも
ご覧になれます

Q 大切にしていくことは何ですか。
A 初めて話す方は未だに緊張しますが、笑顔でいることを心がけています。真顔でいると冷たい印象を受けるらしいので(笑)。職員として

Q 印象的だったことは何ですか。
A 市内にボランティア活動をしている人や、ボランティアに興味を持つ学生がたくさんいることです。今年度は、新しい講座も企画しています。ボランティアの魅力をより多くの方に伝えていきたいです。

Q 今のお仕事の内容を教えてください。
A 手話や要約筆記、点字など様々なボランティア講座の企画や主催と、ボランティアをやりたい人、受け入れたい人の相談にのりマッチングすることなど様々な仕事を担当しています。この仕事だからこそ足を運べる場所や、出会える人と関わることがとても楽しいです。

「みんなが安心して、しあわせに暮らせる地域づくり」を目指し、地域住民と共に活動する塩尻市社協。地元を離れ知らない土地での苦勞もある中、ボランティアコーディネーターとして奮闘する、入職4年目の沓掛未奈さんにお聞きしました。



「自分らしく」そして、「楽しむこと」を大切にしている沓掛さん。



イメージキャラクターの「しおりん」。なんと!5人家族なんですよ〜。



多くの市民の方の声を直接聞けるのも、この仕事の魅力です。



オンもオフも仲良く何でも相談し合える地域福祉推進センター。

「自分が楽しめていないと、ボランティアの楽しさを伝えられない。きつと相手に伝わると思うんです。」との言葉からは、前向きで誠実な人柄を感じました。
澄んだ大きな瞳が印象深い沓掛さん。福祉の世界に進んだきっかけとは? 続きはQRコードからご覧いただけます。

Q 福祉の道を目指す人へ一言お願いします。
A 私自身、学生の頃は「高齢」や「障がい」だけが福祉だと思っていました。興味を持ち勉強をしていくなかで、福祉はもっと幅の広いものだと知りました。知らないことや難しいこともたくさんあるけれど、それを知ったとき、解決できたときに新しい道がひらけ、やればやるだけ世界が広がっていく楽しい仕事です。是非、おすすめですよ!

の立場だけではなく、地域の人の立場ならどう思うのか考えながら、相手が迷わないように話や説明をすることも気を付けています。
Q 福祉の道を目指す人へ一言お願いします。
A 私自身、学生の頃は「高齢」や「障がい」だけが福祉だと思っていました。興味を持ち勉強をしていくなかで、福祉はもっと幅の広いものだと知りました。知らないことや難しいこともたくさんあるけれど、それを知ったとき、解決できたときに新しい道がひらけ、やればやるだけ世界が広がっていく楽しい仕事です。是非、おすすめですよ!

●ご感想、お問合せ、掲載希望等は下記へお寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 企画グループ
TEL 026-228-4244
FAX 026-228-0130
E-mail kikaku@nsyakyo.or.jp

webでもご覧になれます

長野県社会福祉協議会



福祉・介護べんり帖



長野県福祉研修実施団体
きやりあねっと



信州福祉・介護のひろば



ざわめくアート

『無題』 色紙、セロハンテープ
作者:神林 琉矢(かんばやし りゅうや) 12歳 上田市在住



琉矢さんの現在のマイブームはおぼけらしい。ゲゲゲの鬼太郎に登場するキャラクターなどの人形を次々と色紙とセロハンテープで作り続けている。作るスピードや、その数に圧倒される。

自閉症スペクトラムの世界に生きる人は、戦隊ものや怪獣、怪物などのキャラクターにこだわる人が多い。なぜなんだろう? 僕ら以上に感覚の鋭いかれらは常に何かに脅かされている感覚が強く、だからこそ自分を守る守護神のような存在を求めているのかもしれない。これらは琉矢さんの守り神なのかも。

(ながのアートミーティング 取材)